

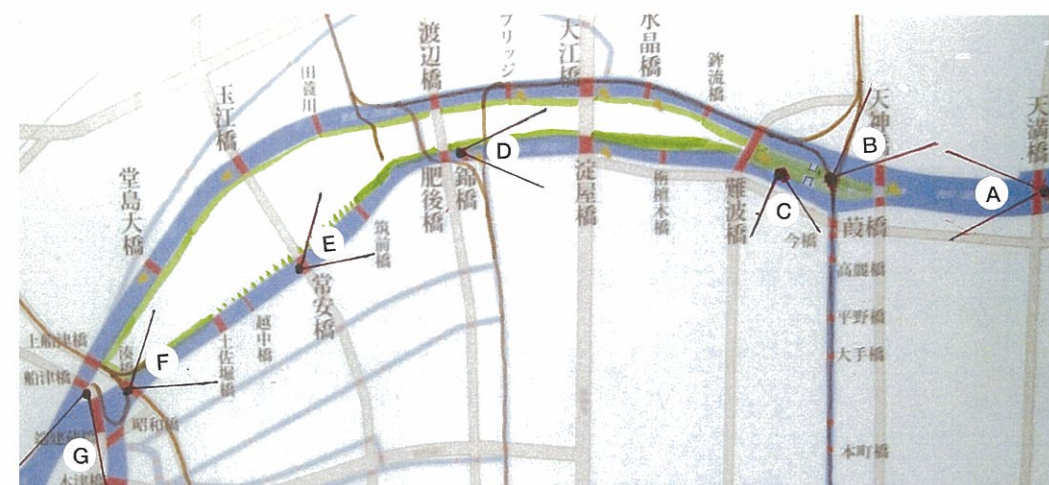
「中之島国際ランドスケープびえんなーれ」の提案

●川は都心の貴重なオープンスペース、街の変化が見渡せる場所です。
 ●大阪の顔 中之島の「新ええとこ」を舞台に、世界のアーティスト、造園家、市民グループ3者が協同製作する「国際びえんなーれ」の開催を提案します。アーティストはフレームの視点を定め未来予想図を創作する。造園家は背面に絵とコラボする「緑と花の屏風」を設計する。市民グループがその緑を育てケアする。「びえん」は美苑となり美縁へと育つ。チームワークとコミュニケーションが出来映えに反映されるそんな「市民参加型びえんなーれ」です。

作品は視点となる位置に陶板タイルで残され銘板が添えられる。春はフレーム花壇、夏は緑壁とミスト、秋は絵と花屏風、冬はフレームのライトアップ、川の台船に立つ移動フレームも面白い。

●大阪府市のミュージアムアイランド構想、中之島遊歩道や水の回廊の施策、特設船着場の社会実験、水都大阪や光のルネサンス等のイベントとの連携を図り、大阪都市魅力創造戦略の一翼を担う「国際びえんなーれ」を目ざします。

●尚 本案では大阪ええとこ再発見 17 選から⑧- 菅原町・多重の河原風景、⑨- 北浜テラス、⑩- 水都大阪の誇りの4選を含む7カ所の「新ええとこ」を提案したが、同時に「移動フレーム」による作家の自由な枠取りも実現したい。

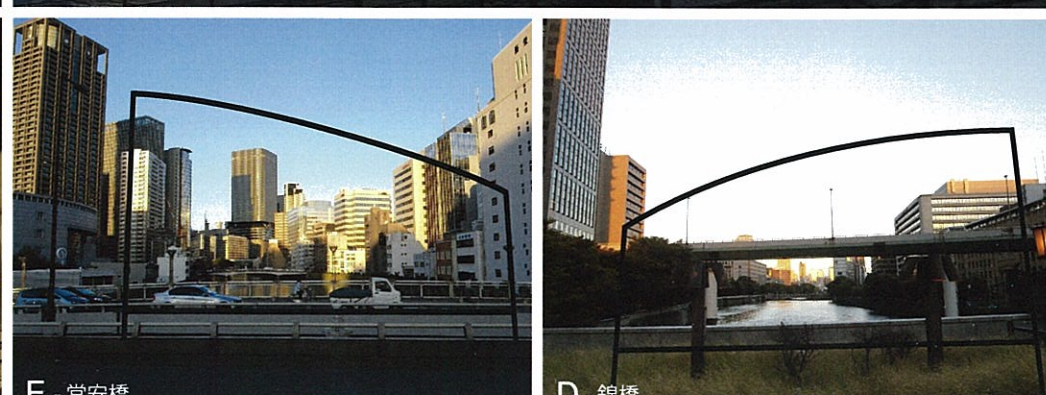


G - 水都大阪の誇り

E - 泰橋



B - 菅原町・多重の河原風景



E - 常安橋

D - 錦橋



C - 北浜テラス

A - 天満橋